

グローバル・コーポレート・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり) 2016-11 (限定追加型) 愛称：グローバルメジャーズ16-11

運用報告書(全体版)

第2期(決算日2017年10月16日)

作成対象期間(2017年4月18日～2017年10月16日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/内外/資産複合
信託期間	2016年11月30日から2019年10月15日までです。
運用方針	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行する期限付劣後債、永久劣後債、優先証券(以下「ハイブリッド証券」といいます。)および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。投資するハイブリッド証券は、取得時においてBB格相当以上の格付(格付がない場合は同等の信用度を有すると判断されるものを含みます。)を有するものとし、ポートフォリオ構築完了時点における組入銘柄の平均格付はBBB格相当以上とすることを基本とします。外貨建て資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	世界各国の企業(金融機関を含みます。)が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とします。
主な投資制限	外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。 株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、利子・配当等収益等の水準および基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104
(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		税 分 達 配	期 騰 落 中 率			
(設定日)	円	円	%	%	%	百万円
2016年11月30日	10,000	—	—	—	—	3,480
1期(2017年4月17日)	10,142	60	2.0	90.2	—	4,292
2期(2017年10月16日)	10,341	60	2.6	96.4	—	3,970

* 基準価額の騰落率は分配金込み。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

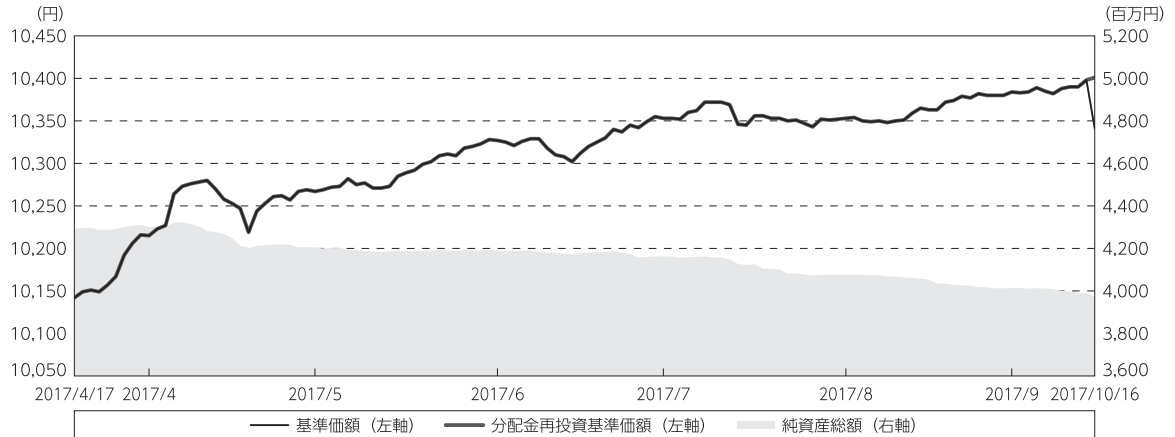
年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落	率			
(期 首)	円		%	%	%	%
2017年4月17日	10,142		—	90.2	—	—
4月末	10,215		0.7	94.8	—	—
5月末	10,267		1.2	93.8	—	—
6月末	10,327		1.8	96.9	—	—
7月末	10,353		2.1	98.2	—	—
8月末	10,353		2.1	96.6	—	—
9月末	10,384		2.4	97.1	—	—
(期 末)						
2017年10月16日	10,401		2.6	96.4	—	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：10,142円

期末：10,341円（既払分配金（税込み）：60円）

騰落率： 2.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成年首（2017年4月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は2.55%の上昇（分配金込みで計算。）

基準価額は、期首10,142円から期末10,341円（分配後）となりました。期末に分配金を60円お支払いしましたので、分配金を考慮した値上がり額は259円となりました。

（上昇要因）

債券を保有していたことによるインカムゲイン（利子収入）

保有債券の利回りの低下に伴うキャピタルゲイン（値上がり益）

○投資環境

米国市場では金利は上昇しました。6月のFOMC（米連邦公開市場委員会）で政策金利が引き上げられたことを背景に金利が上昇した後、8月にかけて北朝鮮のミサイル発射を受けた地政学的リスクの高まりから金利が低下する局面も見られたものの、9月には地政学的リスクへの懸念が後退したことや、FOMCで年内の再利上げが示唆されたことなどを背景に金利は上昇に転じ、決算期ベースで金利は上昇しました。

欧州市場でも金利は上昇しました。6月にECB（欧州中央銀行）のドラギ総裁とBOE（英中央銀行）のカーニー総裁の発言を受けて早期の金融緩和縮小が意識されたことなどを背景に金利が上昇した後、8月にかけて北朝鮮を巡る地政学的リスクの高まりから金利は低下に転じたものの、9月に入ると懸念が後退して金利は再度上昇に転じ、決算期ベースで金利は上昇しました。

米国クレジット市場では地政学的リスクの高まりからスプレッド（国債との利回り格差）は拡大する局面も見られたものの、経済指標が堅調であったことや、株式市場が高値圏で推移したことなどを背景にリスク資産への需要が喚起され、スプレッドは縮小基調での推移となりました。

欧州クレジット市場でも地政学的リスクの高まりからスプレッドは拡大する局面も見られたものの、経済指標が堅調であったことや、4月から5月にかけて、仏大統領選の第一回投票や決選投票の結果を受けて政治リスクに対する懸念が後退したことなどから、スプレッドは縮小基調での推移となりました。

ハイブリッド債市場もクレジット市場と概ね同様の動きとなりました。

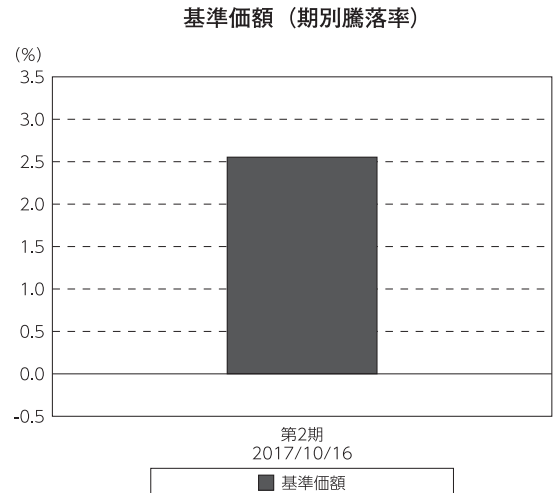
○当ファンドのポートフォリオ

世界各国の企業が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、ポートフォリオの構築にあたっては、原則としてハイブリッド証券の中から信用力、利回り水準、発行総額、流動性等を考慮し、投資対象銘柄を選定しました。外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク及び参考指数を設定しておりません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

今期の収益分配金は、基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から1万口当たり60円とさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第2期
	2017年4月18日～ 2017年10月16日
当期分配金 (対基準価額比率)	60 0.577%
当期の収益	60
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	340

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

世界各国の企業が発行するハイブリッド証券および日本を含む先進国の公社債等を主要投資対象とし、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。ポートフォリオの構築にあたっては、原則としてハイブリッド証券の中から信用力、利回り水準、発行総額、流動性等を考慮し、投資対象銘柄を選定します。外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2017年4月18日～2017年10月16日）

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 51	% 0.495	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(27)	(0.258)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(22)	(0.215)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	52	0.503	
期中の平均基準価額は、10,316円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2017年4月18日～2017年10月16日）

公社債

		買付額	売付額
外 国	アメリカ	社債券（投資法人債券を含む）	千米ドル 103
	ユーロ		千ユーロ 539
	イタリア	社債券（投資法人債券を含む）	—
	フランス	社債券（投資法人債券を含む）	—
	オランダ	社債券（投資法人債券を含む）	—
	スウェーデン	社債券（投資法人債券を含む）	—
	オーストリア	社債券（投資法人債券を含む）	—
	デンマーク	社債券（投資法人債券を含む）	—
	メキシコ	社債券（投資法人債券を含む）	—
	ケイマン諸島	社債券（投資法人債券を含む）	—

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

（2017年4月18日～2017年10月16日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2017年10月16日現在)

外国公社債

(A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	5,900	6,056	678,761	17.1	12.8	17.1	—	—
	千英ポンド	千英ポンド						
イギリス	2,100	2,342	349,026	8.8	8.8	8.8	—	—
	千ユーロ	千ユーロ						
ユーロ								
イタリア	1,300	1,394	184,645	4.7	4.7	4.7	—	—
フランス	7,000	7,438	984,952	24.8	10.1	24.8	—	—
オランダ	4,700	4,946	654,930	16.5	9.1	16.5	—	—
スウェーデン	1,300	1,405	186,041	4.7	—	4.7	—	—
オーストリア	1,370	1,417	187,669	4.7	—	4.7	—	—
デンマーク	1,400	1,454	192,622	4.9	—	4.9	—	—
メキシコ	1,500	1,562	206,847	5.2	—	5.2	—	—
ケイマン諸島	1,500	1,527	202,209	5.1	—	5.1	—	—
合 計	—	—	3,827,707	96.4	45.5	96.4	—	—

*邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘	柄	当 期 末					
		利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日	
				外貨建金額	邦貨換算金額		
アメリカ		%	千米ドル	千米ドル	千円		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BANK OF AMERICA CORP	5.125	1,550	1,587	177,902	2049/12/29
		GOLDMAN SACHS GROUP INC	5.7	1,450	1,487	166,757	2049/12/29
		JPMORGAN CHASE & CO	5.0	1,500	1,532	171,776	2049/12/29
		MORGAN STANLEY	5.45	1,400	1,448	162,325	2049/7/29
小	計					678,761	
イギリス				千英ポンド	千英ポンド		
	普通社債券 (含む投資法人債券)	BARCLAYS BANK PLC	14.0	900	1,058	157,706	2049/11/29
		RWE AG	7.0	1,200	1,283	191,320	2049/3/29
小	計					349,026	
ユーロ				千ユーロ	千ユーロ		
イタリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	ENEL SPA	6.5	1,300	1,394	184,645	2074/1/10
フランス	普通社債券 (含む投資法人債券)	ACCOR SA	4.125	1,400	1,505	199,323	2049/6/30
		ELECTRICITE DE FRANCE	4.25	1,400	1,497	198,301	2049/12/29
		ENGIE	3.0	1,500	1,562	206,857	2049/6/29
		ORANGE SA	4.25	1,250	1,344	177,992	2049/2/28
		SOLVAY FINANCE	4.199	1,450	1,529	202,477	2049/5/29
オランダ	普通社債券 (含む投資法人債券)	ALLIANDER NV	3.25	600	620	82,126	2049/11/29
		DEUTSCHE ANN FIN BV	4.625	1,500	1,588	210,283	2074/4/8
		KONINKLIJKE KPN NV	6.125	1,300	1,366	180,980	2049/3/29
		TELEFONICA EUROPE BV	6.5	1,300	1,371	181,540	2049/9/29
スウェーデン	普通社債券 (含む投資法人債券)	VOLVO TREASURY AB	4.2	1,300	1,405	186,041	2075/6/10
オーストリア	普通社債券 (含む投資法人債券)	OMV AG	6.75	1,370	1,417	187,669	2049/6/29
デンマーク	普通社債券 (含む投資法人債券)	DONG ENERGY A/S	4.875	1,400	1,454	192,622	3013/7/8
メキシコ	普通社債券 (含む投資法人債券)	AMERICA MOVIL SAB DE CV	5.125	1,500	1,562	206,847	2073/9/6
ケイマン諸島	普通社債券 (含む投資法人債券)	HUTCH WHAMPOA EUR FIN 13	3.75	1,500	1,527	202,209	2049/5/29
小	計					2,799,918	
合	計					3,827,707	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

（2017年10月16日現在）

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,827,707	93.3
コール・ローン等、その他	275,684	6.7
投資信託財産総額	4,103,391	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産（3,907,505千円）の投資信託財産総額（4,103,391千円）に対する比率は95.2%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル=112.08円、1英ポンド=149.02円、1ユーロ=132.41円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2017年10月16日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	7,791,436,084
コール・ローン等	199,638,553
公社債（評価額）	3,827,707,292
未収入金	3,688,044,686
未収利息	74,271,501
前払費用	722,675
その他未収収益	1,051,377
(B) 負債	3,821,310,768
未払金	3,777,615,000
未払収益分配金	23,035,947
未払信託報酬	20,592,536
未払利息	195
その他未払費用	67,090
(C) 純資産総額（A－B）	3,970,125,316
元本	3,839,324,653
次期繰越損益金	130,800,663
(D) 受益権総口数	3,839,324,653口
1万口当たり基準価額（C／D）	10,341円

(注) 期首元本額は4,232,680,896円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は393,356,243円、1口当たり純資産額は1.0341円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額4,971,936円。

○損益の状況（2017年4月18日～2017年10月16日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	99,275,299
受取利息	98,819,252
その他収益金	598,512
支払利息	△ 142,465
(B) 有価証券売買損益	20,256,331
売買益	602,502,418
売買損	△582,246,087
(C) 信託報酬等	△ 20,919,521
(D) 当期損益金（A＋B＋C）	98,612,109
(E) 前期繰越損益金	51,081,588
(F) 追加信託差損益金	4,142,913
（配当等相当額）	（ 934,384）
（売買損益相当額）	（ 3,208,529）
(G) 計（D＋E＋F）	153,836,610
(H) 収益分配金	△ 23,035,947
次期繰越損益金（G＋H）	130,800,663
追加信託差損益金	4,142,913
（配当等相当額）	（ 934,384）
（売買損益相当額）	（ 3,208,529）
分配準備積立金	126,657,750

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

（注）分配金の計算過程（2017年4月18日～2017年10月16日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2017年4月18日～ 2017年10月16日
a. 配当等収益(経費控除後)	81,901,637円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	16,710,472円
c. 信託約款に定める収益調整金	4,142,913円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	51,081,588円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	153,836,610円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	400円
g. 分配金	23,035,947円
h. 分配金(1万口当たり)	60円

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	60円
----------------	-----

※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合

分配金は全額普通分配金となります。

※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合

分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。

※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合

分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

<お申し込み時の留意点>

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますようよろしくお願いいたします。

(2017年10月16日現在)

年 月	日
2017年10月	-
11月	-
12月	25、26

※2017年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ (<http://www.nomura-am.co.jp/>) にも掲載いたしております。